信州大学医学部附属病院　呼吸器外科科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026 年 8 月 26 日

「胸腔鏡下もしくはロボット支援下肺区域切除術における周術期成績の検討（後向き試験）」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	胸腔鏡下もしくはロボット支援下肺区域切除術における周術期成績の検討（後向き試験）
所属(診療科等)	呼吸器外科
研究責任者(職名)	中村　大輔（診療助教）
研究実施期間	医学部長による許可日～2029 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	近年、肺がんの手術では、従来の肺葉切除に加え、より多くの肺を温存できる肺区域切除が標準術式の 1 つとなり、その症例数が増えています。手術アプローチ方法として、大きく胸を開く開胸手術に代わり、体への負担が少ない胸腔鏡下手術(VATS)が普及し、治療効果を損なうことなく体の回復が早いことが分かっています。さらに 2020 年 4 月からは、より精密な操作が可能なロボット支援下（RATS）肺区域切除術が保険適応となり、当院でも多く行っています。肺区域切除に限定して、VATS と RATS を比べた成績や合併症の報告はまだ十分ではありません。今回の研究は、2019 年 8 月から 2026 年 8 月までに当院で行った肺区域切除の症例を調べ、手術方法ごとの特徴や利点・欠点を明らかにすることを目的としています。
対象となる方	2019 年 8 月 1 日から 2026 年 8 月 25 日までの期間に、当院で肺区域切除術を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、手術方法と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名（所属・職名）:　中村　大輔　（呼吸器外科　診療助教） 電話：0263-37-2657

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。